

【社会】

<学習内容> 「わたしたちの生活と政治」

◆ 「子育て支援の願いを実現する政治」（教科書 34～45 ページ）をもとに、児童センターがつくられるまでの政治の働きについて、それぞれ調べ、取組シートやノートにまとめよう。

(1) （教科書 34～39 ページ）児童センター「あすばる」は、どのようにしてつくられたのでしょうか。調べて、図や文でまとめてみましょう。

※教科書 39 ページの③の図を参考にするとよいです。

(2) （教科書 40～41 ページ）市議会^{しぎかい}について、調べましょう。

①市議会では、どのようなことを話し合っていて決めていますか。

②市民の代表である市長や市議会議員になるための選挙に立候補できるのは何才以上ですか。また、選挙で投票できるのは何才以上ですか。

③市民と市議会にはどのようなかかわりがありますか。

※（できる人はやってみよう）約 196 万人が暮らす札幌市には、何人の市議会議員がいるかな？予想をしてから、調べてみよう。

(3) （教科書 42～43 ページ）税金について、調べましょう。

①税金とはどのようなお金ですか。

②「あすばる」の建設などには、税金が使われます。このような税金の使い道は、どのように決められていますか。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

・この単元は、「子育て支援の願いを実現する政治」（教科書 34～44 ページ）または「震災復興の願いを実現する政治」（教科書 46～56 ページ）のどちらかを選択して学習しますが、この学習課題では、先週と今週の 2 週に分けて両方に取り組むようにしています。

・前回学習した国会と市議会を比較すると、国政と地方自治の共通点や違いが分かり、政治と国民生活との関係について、より深く考えることができます。

・わたしたちが暮らす札幌市の予算については、「広報さっぽろ 4 月号」に掲載されています。

<https://www.city.sapporo.jp/somu/koho-shi/202004/documents/20200402-05.pdf>

市議会が話し合っていて決めた税金の使い道を知ることで、市議会の働きについて、実感を伴って理解することができます。

